

丹波市^{もり}森林づくりビジョンの改定について（概要）

1 ビジョン（改定版）策定に至る背景と目的

丹波市では、平成 24 年度に策定した「丹波市森林づくりビジョン」に掲げる基本理念「森林の多面的機能を持続的なものとするため、地域とともに考え、地域の特性を活かした安全で活力ある水源の森林づくりを進める」に基づき、林業施策を推進しています。

ビジョン策定後、10 年が経過することを節目ととらえ、現行ビジョンの評価検証を行うとともに、林政状況の変遷を踏まえ、今後の林業施策の基本方針や基本的な施策を見直した「ビジョン（改定版）」を策定します。

- ①現行ビジョン策定後、10 年間の間に全国的に豪雨災害が発生
 - 丹波市においても、平成 26 年、平成 30 年に大きな災害に見舞われる
 - 森林が持つ災害防止機能、国土保全機能への関心が高まる
- ②森林が持つ公益的機能への要求の高度化、多様化
 - 脱炭素社会に向けた森林整備の取組、SDG s の目標の一つに「持続可能な森林の経営」
- ③市や事業者が主体となった事業推進
 - 森林環境税制度、森林経営管理制度の創設、所有者不在森林による住環境への影響

2 検討委員会の役割

ビジョン（改定版）策定にあたり、専門的かつ幅広い見地からの意見を反映させるため、様々な立場で丹波市の林業施策に携わっておられる方々による「丹波市森林づくりビジョン検討委員会」を設置します。

ビジョン（改定版）の策定には、以下のプロセスにより進めていくこととしており、進捗状況に応じて皆様からの意見をいただき、反映していきます。

【ビジョン（改定版）策定に係るプロセス】

①森林に関する現況調査

10 年間の取組の成果と課題、上位関連計画との整合検証

②市民ニーズ等の意識調査

市民アンケート、林業関係者へのヒアリングによるニーズや意識調査の把握と分析

③今後の基本方針、基本施策展開内容の改定

①、②の分析・検証結果を基に、今後展開していくべき基本施策の検討